

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63-3516

⑬ Int. Cl. 1

F 16 B 35/00
5/02

識別記号

庁内整理番号

Z-7526-3J
A-6673-3J

⑭ 公開 昭和63年(1988)1月11日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 上下カバー固定用スライドネジ

⑯ 実 頼 昭61-96890

⑰ 出 頼 昭61(1986)6月24日

⑮ 考案者 日高 裕 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑯ 出願人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑰ 代理人 弁理士 内原晋

BEST AVAILABLE COPY

明細書

1. 考案の名称

上下カバー固定用スライドネジ

2. 実用新案登録請求の範囲

下面にネジ穴を有する上部ハウジングと、長丸穴を有するローラーと長丸穴と合致するシャフト部と、ネジ部を有するスライドネジと、スライドネジを押上げる為のスプリングと、スライドネジ及びスライドネジを支える円筒を有する、下部ハウジングとローラー及びスライドネジを位置決めする穴を有する下部カバーとを有する上下カバー固定用スライドネジ。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案はハウジングの固定を行なうスライドネジに関する。

〔従来の技術〕



従来、上下二段かさねのハウジング固定は下方よりネジ止めを行っていた。

〔考案が解決しようとする問題点〕

ネジ止めによる固定は装置を持上げて固定の為固定しづらいという欠点がある。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案の上下カバー固定用スライドネジは下面にネジ穴を有する上部ハウジングと長丸穴を有するローラーと、長丸穴と合致するシャフト部とネジ部を有するスライドネジと、スライドネジを押上げる為のスプリングと、スライドネジ及びスライドネジを支える円筒を有する下部ハウジングとローラー及びスライドネジを位置決めする穴を有する下部カバーを有する。

〔実施例〕

次に本考案について図面を参照して説明する。

第1図は本考案の一実施例の斜視図、第2図は実施例の縦断面図である。1は下部ハウジング、2はスプリング、3はスライドネジ、4は



ローラー、5は下部カバー、6は上部ハウジングとする。

下部ハウジング1は円筒を有し、円筒に2スプリング2、スライドネジ3を挿入する。ローラー4は長丸穴を有し、スライドネジ3は長丸穴を合致するシャフト部を有し、ローラー4とスライドネジ3は上下にスライドする。スライドネジ3にローラー4を挿入し、下部カバー5にあけられた穴でローラー4を位置決めする。上部ハウジング6の下面にネジ穴を有する。ローラー4は、下部ハウジング1円筒と、下部カバー5で固定され一定面で回転する。下部ハウジング1に上部ハウジング6を乗せると、スライドネジ3は下部ハウジング1下面ネジ穴部に合致して下に押さげられる。ローラー4を回転すると、スライドネジ3はスプリング2により押上げられながら回転し、下部ハウジング1と、上部ハウジング6は固定される。

〔考案の効果〕

以上説明したように本考案は、下面にネジ部



を有する上部ハウジングと、長丸穴を有するローラーと、長丸穴と合致するシャフト部とネジ部を有するスライドネジとスライドネジを押上げる為のスプリングとスライドネジ及びスライドネジを支える円筒を有する下部ハウジングとローラー及びスライドネジを位置決めする穴を有する下部カバーを有する事により、一定面で回転するローラーを回転させる事により上下ハウジングを固定でき、ローラーが一定面で回転する為、ハウジング切欠をローラー面のみにする事ができる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

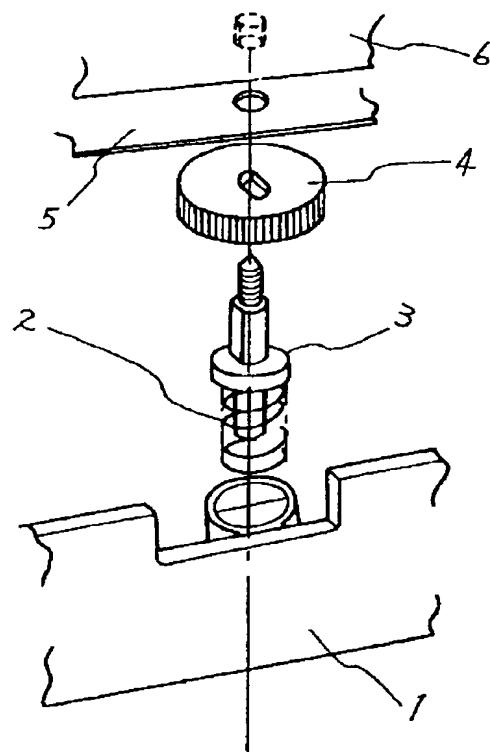
第1図は本考案の斜視図、第2図は縦断面図を示す。

- 1 … 下部ハウジング, 2 … スプリング,
- 3 … スライドネジ, 4 … ローラー,
- 5 … 下部カバー, 6 … 上部ハウジング。

代理人 弁理士 内原

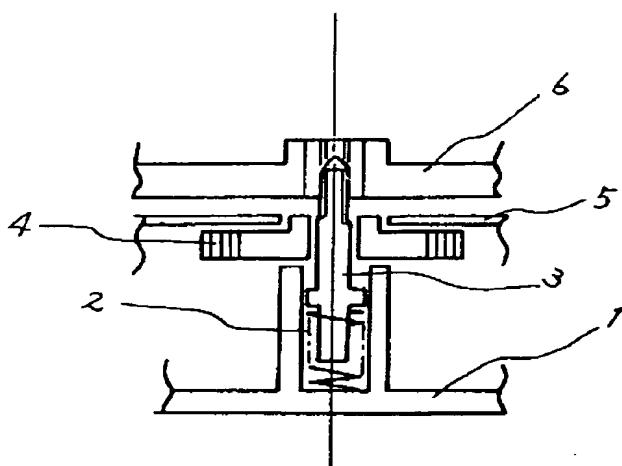


140



1 ---- 下部ハウジング
 2 ---- スプリング
 3 ---- スライドネジ
 4 ---- ローラ
 5 ---- 下部カバー
 6 ---- 上部ハウジング

第 1 図



141

第 2 図

実用新案登録

代理人 有理十 内 原